| ホルムアルデヒド放散等級 |
|---|
| F☆☆☆☆ |

# 水性シリコン浸透ガード

## 劣化した住宅コンクリートを見事に甦(よみがえ)らせます。

### 膨れ・はがれの心配がありません。
遮水効果および超薄膜化により、
膨れなどが生じません。

### 吸水防止に効果があります。
住宅基礎部･モルタル･コンクリート生地部の表面に
吸水防止効果を付与します。

### 透湿性があります。
水蒸気透湿性にきわめてすぐれるため、
結露から建物をまもります。

### 中性化防止に効果があります。
シリコン･フッ素の保護膜を形成するので
基礎部などの中性化防止に効果を発揮します。

### 水性です。
水性塗料ですから取り扱いが安全で、
環境にやさしい塗料です。

### 防藻・防かび力があります。
藻やかびによるよごれを抑えます。

## 水性シリコン浸透ガード仕上がり例

ガレージ壁

住宅基礎

住宅コンクリート壁

※仕上がり例は、下地補修をした後のイメージ図です。
※床面は、床用塗料を塗装した後のイメージ図です。
※塗装後の色は印刷のため、イメージ図です。(実際の色調とは異なります)

## 標準塗装仕様

### ■住宅基礎コンクリート面･住宅コンクリート面

| 塗装工程 | 塗 料 名 | 塗り回数 | 使 用 量 (kg／m²／回) | 塗り重ね乾燥 時間(23℃) | 希釈剤 | 塗装方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 下地調整 | 素地処理が必要な場合は、ワイヤブラシ、サンドペーパー、ウエスなどを使用して清掃してください。 | | | | | |
| 上塗り① | ニッペ水性シリコン浸透ガード | 1 | 0.10～0.20 | ※1 8時間以内 | 無希釈 | はけ･ウールローラー |
| 上塗り② | ニッペ水性シリコン浸透ガード | 1 | 0.05～0.10 | – | 無希釈 | エアレススプレー |

※1.透明は「追っかけ塗装」をしてください。
※2.上記の数値は、すべて標準的数値です。被塗物の形状、種類、素地の状態、気象条件、施工条件などにより増減しますので、あらかじめ試し塗りをして確認してください。

### ■標準色 右記色以外に「透明」があります。

ライトグレー:セメント系下地およびセメント系下地調整材等の近似色
モルタルグレー:モルタル下地等の近似色(ライトグレーより濃い目の色相)
※この色見本は印刷のため、実際の色調とは異なります。

ライトグレー

モルタルグレー

# ニッペ 水性シリコン浸透ガード

## 塗料性状・荷姿

| 塗料名 | 色相 注) | つや | 容量 | 希釈剤 | 希釈率 | 使用量 | 塗装方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ニッペ水性シリコン浸透ガード | 透明<br>モルタルグレー<br>ライトグレー | つや消し | 15kg | 無希釈 | − | 0.10〜0.20(1回目)<br>0.05〜0.10(2回目) | はけ・ウールローラー<br>エアレススプレー |

注)モルタルグレーおよびライトグレーは、吸い込みによって若干の色むらが発生しますので、外壁面のような仕上がりを重視した場所には仕上がりむらが発生する可能性がありますので塗装を避けてください。

## 乾燥時間

| | 5〜10℃ | 23℃ | 30℃ |
|---|---|---|---|
| 指　触　乾　燥 | − | − | − |
| 塗 り 重 ね 乾 燥 | 2時間以上24時間以内 | 1時間以上8時間以内 | 30分以上2時間以内 |

※乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

## 適用下地

●住宅基礎コンクリート面　●住宅コンクリート面

## 施工上の注意事項（詳細な内容については、製品使用説明書などにてご確認ください。）

・吸い込みにくい基材、板材（押出成形板、緻密なＰＣ板、旧塗膜がある場合など）には塗装を控えてください。
・塗色が透明である場合、塗り重ねは、1コート目は使用量を多めに塗装し、2コート目は塗装むらの修正、巣穴への押し込みを意識した追っかけ塗装をしてください。
・コンクリートブロックなど吸い込みの大きい基材、板材に塗装した場合、十分な吸込防止性能を発揮できない場合があります。
・笠木、天端など長時間水が停留する個所では、ぜい弱な層になっていますので入念にぜい弱層を除去してください。また十分に除去できない場合は、樹脂入りセメント系下地調整材（ニッペセメントフィラー、ニッペフィラー200）などで処理を行った後に塗装してください。
・表面のごみ、ほこりなどは除去し、目ちがい、ジャンカなどがある場合、正常面と同色になるように素地補修を行ってください。
・エフロレッセンスなど汚れの除去で素地の洗浄を行う場合、薬剤(酸、洗剤など)が残らないよう、後水洗は十分行い、乾燥した清浄な面にしてください。
・さび汁などがある場合は、サンドペーパーで除去してください。
・吸い込みやすい基材では使用量が多くなります。
・低温、または高湿度の時期は、吸水防止性能の発現が遅くなる場合があります。
・つや調整品では、塗り継ぎや補修でつやむらが出やすいので、面を切って通しで塗装してください。
・つや調整品は、使用中にも塗料液が分離しやすい場合がありますので、適宜かくはんしながらご使用ください。
・防藻・防かび効果は、繁殖を抑制するものです。すでに繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理をしてから塗装してください。
・絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶成分が表面に溶出し、黄色い粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
・塗装後、乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気分を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。
・色相によっては降雨、結露によってぬれ色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。
・乾燥後の塗膜に付いた汚れは、シンナーなどの溶剤では拭かず、せっけん水で洗浄してください。
・スプレーノズルの先端は、ときどき水洗いをしてください。作業能率の低下および塗りむらの原因になります。
・動物はけは、はけが固まったりダマになりやすいので、できるだけナイロンはけをご使用ください。
・素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下（ケット科学社製CH-2型で測定した場合）、または5%以下（ケット科学社製Hi500シリーズ：コンクリートレンジで測定した場合）の条件で塗装してください。
・表面のごみ、ほこり、エフロレッセンス、レイタンスなどは除去し、目違い、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
・塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
・屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
・塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
・飛散防止のため必ず養生を行ってください。
・シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペブリードオフプライマーを下塗りすることで、可塑剤移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
・調色には必ず当社専用の原色をお使いください。
・大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
・はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
・ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がり感が異なって見えることがあります。
・汚れ、きずなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
・ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
・塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。
・開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
・塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
・製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート（SDS）をご参照ください。

### 警　告

### 危険有害性情報

・飲み込むと有害のおそれ
・皮膚に接触すると有害のおそれ
・生殖能力または胎児への悪影響のおそれの疑い

### 安全衛生上の注意事項（水性シリコン浸透ガード　透明）

横倒禁止

・本来の用途以外に使用しないでください。
・使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。
・取り扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
・必要に応じて個人用保護具を使用してください。
・飲み込んだ場合:気分が悪いときは、医師に連絡してください。口をすすいでください。
・粉じん、蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けてください。
・暴露したとき、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。
・容器からこぼれたときには、砂などを散布した後処理してください。
・施錠して子供の手の届かないところに保管してください。
・直射日光や水濡れは厳禁です。
・塗料などの缶の積み重ねは3段までとしてください。
・日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上の温度に暴露しないでください。
・内容物／容器を廃棄するときには、国／地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
・塗料、塗料容器、塗装具を廃棄するときは、産業廃棄物として処理してください。
・容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産廃処理業者に処理を依頼してください。

※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示と異なる場合があります。

■詳細な内容、表示例以外の製品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。
■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。


日本ペイント株式会社
お客さまセンター
☎03-3740-1120
☎06-6455-9113
http://www.nipponpaint.co.jp/


●当社は2014年7月現在、ISO14001を全事業所で認証取得しています。
●このカタログは、再生紙を使用しています。

●本カタログの内容については予告なしに変更することがありますのであらかじめご了承ください。


■詳しい情報はホームページで　日本ペイント　建物　検索　http://www.nipponpaint.co.jp/biz1/building.html


カタログNo.
NP-S019
KE140705T
2014年7月現在